

「協働ネットワークしながわ」って？

【目的】品川区内で地域課題や社会的課題の解決に関心のある人々が、ネットワークの拡大と「協働」関係の構築を進め、地域活動の裾野を広げながら、広く区民の協働による豊かなまちづくりをめざします。

【構成員】 団体会員 48 名、個人会員 38 名

【設立】『区民と区との協働を進める懇話会』の有志により、前身となる「しながわパートナーズ」が平成 23 年度に発足。翌年度に「協働ネットワークしながわ」に名称変更しました。

**今年 1 年間の取り組みを中心に、主な活動について紹介します。
ご興味のある方は、4 頁に記載の問合せ先までご連絡ください。**



今年度は延べ 110 名が参加

今年度は、法人格取得・広報・資金調達をテーマに講座を実施しました。(次頁で特集)
広報しながわ等で参加希望者を募り、団体運営のヒントを学びました。〈通算 13 回実施〉



区内公共施設で配布中

協働に関するニュースをまとめた、協働ニュース品聞(しなもん)を3か月に1回発行(25号~28号)。バックナンバーを含めて、区HPでも公開されています。



最近よく耳にする SDGs って？

その時々で注目のテーマについて、勉強会や懇談会を開催。会員間の交流を深めるための職場見学会や施設見学会も、随時実施します。
〈通算 27 回実施〉



令和元年度総会での集合写真

ほぼ毎月、運営委員が集まり運営や年間事業計画の実現に向けた協議をしています。年 1 回総会も開催。〈平成 24 年〜〉

夢をかなえる団体になるために 今年度はこんな講座を開催しました！

「法人格とは？ 法人格を取るには？」



地域活動を行うときに法人格は必要なのでしょうか？ NPO や一般社団など法人の種類、それぞれのメリット、デメリット、どの法人格が自らの団体にマッチしているのか、を学びました。実際に法人化を進める際の設立カレンダーも習得。既に法人格を持つ団体向けには、上手な運営のヒントも提示されました。参加者からは「法人化は大変だが、前進するためにビジョンから考えたい。」「活動している NPO の定款を見直すきっかけになった。」などの声が寄せられました。

講師：小熊 浩典氏(まつど NPO 協議会副理事長/事務局長) 2019 年 7 月 25 日(木)開催

伝えたい人に「伝わる」広報とは？

広報の役割は人が行動する(新しいことを始める)キッカケとなること！ そのためには、一方通行で知らせるだけではなく、相手の考えていることを想像して「自分に関係がある」と思ってもらうことが大切、と学びました。それを踏まえた上で、文字の書体を揃えたり、色のイメージに配慮しつつ 3 色程度にする、などチラシ作りの技術も学びました。2 回目はチラシのクリニックとして、各自が実際に作成したチラシを事前に添削して頂き(右図は一例)、アドバイスを全員で共有しました。



講師：谷 浩明氏(杉並区広報専門監/合同会社 MACARON) 2019 年 9 月 11 日(水)、25 日(水)開催

団体の活動資金調達(ファンドレイジング)講座



「成果」を伝え、「共感」を集めることが資金獲得につながる… 活動の財源には寄付、会費、助成金、事業収入、行政からの委託金などがありますが、近年はいずれも成果志向で評価される傾向があるので、共感につながるメッセージを発信することが、大切だと学びました。また、共感が得られると、団体の役員、スタッフ、ボランティアの意欲向上や協働パートナーの獲得など、さらなる成果につながる好循環が生まれやすく、資金獲得だけに留まらず、団体の運営にも好材料となるようです。

講師：久保 匠氏(日本ファンドレイジング協会プログラム・オフィサー) 2020 年 2 月 5 日(水)開催

区民活動助成制度 公開成果報告会

2020年1月31日(金)、品川区役所講堂にて「区民活動助成制度(※1)公開成果報告会」が実施されました。このイベントは「令和元年度(平成31年度)地域振興基金(※2)を活用した区民活動助成制度」で採択された団体が、団体の活動目的や、対象事業を実施した成果を発表するというもので、区民の方も自由に聴講できる、初めての取り組みとなりました。

(採択団体につきましては、品聞26号で特集していますのでぜひご覧ください。)

- (※1)区民活動助成制度 … 地域課題を解決するために区内で公益活動に取り組む団体の事業に対して助成金を交付し、その目的達成を支援する制度。審査会による審査を経て、採択される。
- (※2)地域振興基金 … 社会貢献活動その他公益の増進に寄与する活動を行う団体を支援することにより、地域社会の振興を図ることを目的に設置された基金。寄附金を積み立てている。



普段、自分の団体で活動していても、他の団体がどのような活動をしているのかを、直接聞く機会はありませんかと思います。そして、団体に属していない方にとっては、そもそも地域活動自体のイメージが掴みづらいのではないのでしょうか。そのような意味で、団体の目的や活動内容を、実際に活動している人たちから説明していただける今回の成果報告会は、大変有意義でした。これから地域で活動を始めてみたい方には、特に見て・聞いていただきたい内容のように感じました。

また、団体の発表に耳を傾けていると、実に多岐にわたる活動が展開されていることを再認識させられました。例えば、一口に子育て支援と言っても、子どもの外遊びの場所づくりだったり、孤独になりがちな母親の交流サロンだったり、団体ごとに目的や活動に対するスタンスがあり、それに向けて邁進し積み重ねてきた結果が、独自性のある事業として実を結んでいるのだと実感しました。

さらに、活動の内容や成果だけでなく、それぞれの団体が苦勞している点や、それを克服するために工夫している点が浮かび上がりました。自分の日々の活動に応用できるヒントがいくつも見つけられ、ちょっとお得な気分になりました。

各発表後には、審査委員や団体支援を専門に行うNPOの方々から質問やアドバイスがありました。また、発表に対して、意見や感想を記入できるシートが配布され、後日まとめて各団体に届けられるそうです。さらに、休憩時間や終了後に団体間で名刺交換する場面も見受けられ、単なる発表に終わらず、次につながる成果報告会だったと思います。(取材：坪井ひとし)

定期総会のご案内

協働ネットワークしながわの定期総会を以下のとおり開催します。

総会は、協働ネットワークしながわの年間計画や会計報告等を主な議題とするとともに、年に一回、会員が一堂に集まって交流を深める貴重な機会でもあります。

総会終了後は、交流会を実施予定です。交流会は、会員でない方の参加も歓迎します。

(実費をいただきます。)希望の方は、品川区地域活動課協働推進係(協働ネットワークしながわ事務局)まで、電話もしくはファックスでお申し込みください。

日時：2020年5月18日(月)午後3時30分～5時(終了後交流会)

場所：中小企業センター 2階 中講習室



しながわ地域貢献活動展 中止に

例年、3月に発行される品聞(しなもん)では、2月にきゅりあんで開催される「しながわ地域貢献活動展(旧：地域でつながるみんなの暮らし展)」を特集してきました。今年は2/22(土)に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となりました。

このイベントは、参加団体の有志である実行委員会が中心となり企画・準備を進めて開催されるもので、協働見本市として毎年多くの方の参加があり、交流の場となっています。

今回の中止は残念ですが、また来年、区内の団体や区民が顔を合わせ、つながる機会となるようなイベントとなることを楽しみにしています。

問い合わせ先

協働ネットワークしながわは、どなたでも入れる会員制。1、2頁に記載のとおり、さまざまな講座、施設見学会、学習会、情報交換会、協働ニュース品聞(しなもん)の発行などを行っています。社会貢献活動をなさっている方、協働に関心のある方、参加を考えていらっしゃる方はお気軽に問い合わせてください。入会金、会費、いずれも無料です。また、協働ニュース品聞についても下記までお問い合わせください。

事務局連絡先：地域活動課 協働推進係

〒140-8715 品川区広町 2-1-36

☎：03-5742-6605

Fax：03-5742-6878

E-mail：

chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp

